

2001年第4週報告分

- 発生動向総覧／調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾患集計表
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 疾病別グラフ
- 感染症トピックス
《A群溶血レンサ球菌感染症》

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

(全数情報)

- ・細菌性赤痢 1 件の菌型はソンネ (推定感染地域 : タイ) である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症は患者 1 件で、O157 VT1+ VT2 だった。
- ・アメーバ赤痢 1 件はタイでの経口感染が推定されている。
- ・オウム病が 2 件報告された。3 2 歳女性は、家庭でのインコからの感染が推定されている。5 5 歳女性は国内又はカナダでの感染が推定されているが、感染経路不明である。
- ・ジアルジア症 1 件は感染地域、感染経路ともに不明だった。
- ・マラリア 1 件は、熱帯熱マラリア (推定感染地域 : ガーナ) である。

(推定される感染地域は、医師の届出によるものです。)

(定点情報)

感染性胃腸炎、麻疹、伝染性紅斑、突発性発疹の報告が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎についても今後の推移に注意する必要がある。

(病原体情報)

- ・先週報告したインフルエンザウイルス A H 1 遺伝子陽性の肺炎患者から、インフルエンザウイルス A H 1 (A ソ連) 型が分離され、今週は上気道炎、インフルエンザ様疾患患者の咽頭拭い液から A H 3 (A 香港) 型遺伝子およびインフルエンザウイルスが 2 株分離された。
- ・上気道炎、インフルエンザ様疾患の患者検体 8 件からアデノウイルスの遺伝子が検出され、アデノウイルス 3 型が 3 件分離された。
- ・急性小脳炎患者の咽頭拭い液からムンプスウイルスと、脳脊髄液からアデノウイルスの遺伝子が同時に検出された。
- ・麻疹患者の咽頭拭い液から麻疹ウイルスの遺伝子が検出された。
- ・第 4 週の胃腸炎集団発生は 1 8 事例あり、そのうち 1 4 事例 4 0 件から S R S V が検出されている。S R S V は、G および G の両方が検出されており、昨年と比べて現在のところ G の割合が多い。
- ・咽頭拭い液、尿、喀痰などから検出された M R S A は、コアグラ - ゼ Ⅰ 型、エンテロトキシン C 産生性が 6 件、鼻腔粘液から検出された M R S A は、コアグラ - ゼ Ⅰ 型、エンテロトキシン陰性 1 件が検出されている。
- ・咽頭拭い液および、鼻腔粘液から検出された溶血性レンサ球菌はそれぞれ T - 1 型、発熱性毒素 B 産生株と T - 1 2 型、発熱性毒素 B C 産生株であった。
- ・多摩支所に搬入された感染性胃腸炎患者のふん便 3 件中 1 件から S R S V が検出された。
- ・多摩支所に搬入されたインフルエンザ様疾患の患者検体 1 1 件中 2 件から A H 3 (A 香港) 型の遺伝子が検出された。

(その他の情報)

- ・学校関連の胃腸炎集団発生の検体約 2 0 0 件が搬入されている。
- ・前週報告した A H 1 (A ソ連) 型に続き、多摩地域の集団風邪事例で第 5 週に搬入された検体から B 型のインフルエンザウイルスが検出 (PCR 法) された。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

台東区

1月27日に来院した9ヶ月男児 発熱、迅速検査にてA型インフルエンザと診断

練馬区

- ・インフルエンザはディレクティジェン陽性でした。
- ・女3人はディレクティジェンFluA陽性、男1人は4歳女児からの感染です。

品川区

32歳の男性インフルエンザOIAキットで陽性。幼児2人は、終了間際だったため検査していないが39以上の高熱あり。

府中市

昨年52週報告のインフルエンザ様疾患の26歳成人女性は、都衛研での検査(PCR法)でインフルエンザは陰性であった。

1月15日に発病した7歳男児のインフルエンザ様疾患患者は、都衛研多摩支所での検査(PCR法)でインフルエンザA香港型が検出された。

今年は1月末にもかかわらず、インフルエンザの大きな流行は、未だにみられない。

全数届出患者数一覧表 2001年4週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		1週	2週	3週	4週	4週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ	1				1
	細菌性赤痢		3	2	1	6
	腸チフス					3
	パラチフス					
	急性灰白髄炎					
	ジフテリア					
三類	腸管出血性大腸菌感染症		5	1	1	14
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢		3		1	4
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病				2	2
	回帰熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)		1			4
	Q熱					
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症					
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2			2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1
	後天性免疫不全症候群	5	11	2	8	9
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症		2		1	1
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎					
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病			1		4
	デング熱		1	1		
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ポツリヌス症					
	梅毒	2		1	4	3
	破傷風					2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
	ブルセラ症					
	発疹チフス					
マラリア				1	3	
ライム病						
レジオネラ症	1	1				

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/01/31集計)

定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	2000年～2001年 週				累計
		1	2	3	4	
インフルエンザ	男	14	29	42	73	158
	女	7	22	31	57	117
咽頭結膜熱	男	11	3	4	3	21
	女	4	6	3	2	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	12	26	37	26	101
	女	8	22	26	38	94
感染性胃腸炎	男	215	442	542	543	1742
	女	227	451	584	629	1891
水痘	男	72	115	92	82	361
	女	82	94	78	80	334
手足口病	男	1	7	7	4	19
	女	1	5	5	2	13
伝染性紅斑	男	10	43	42	41	136
	女	12	35	27	40	114
突発性発疹	男	11	31	41	38	121
	女	13	32	27	32	104
百日咳	男					
	女				1	1
風疹	男					
	女		2	2	1	5
ヘルパンギーナ	男		3	2	1	6
	女	1	3	3	3	10
麻疹(成人以外)	男	6	4	4	7	21
	女	1	2	4	8	15
流行性耳下腺炎	男	58	97	69	48	272
	女	35	81	53	41	210
不明発疹症	男	2	2	10	2	16
	女	2	5	6	1	14
MCLS	男		2	2	2	6
	女				1	1
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	7	13	11	10	41
	女	5	7	4	11	27
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男		1			1
	女					
細菌性髄膜炎	男					
	女					
無菌性髄膜炎	男	1		1		2
	女					
マイコプラズマ肺炎	男		2			2
	女	1				1
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男	1				1
	女		1			1

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

年齢階級別累計表(2001年4週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月				13	2		1	10	1							1	
～1歳	1		1	45	7		1	47			1	1	1				
1歳	7	1	1	101	35	2	1	11			1	6	4			1	1
2歳	1		3	75	28		6	2			1	1	6				1
3歳	5	1	4	100	21		3			1		1	12				
4歳	5		10	90	25	2	13				1	1	13				
5歳	7		11	85	25	1	12					1	13				1
6歳	7		7	98	3		16					1	14				
7歳	2		16	51	3		9						4				
8歳	2		3	46	2		4						8				
9歳	4		1	38	1	1	2					2	1		1		
10～14歳	6		1	101	5		12						6				1
15～19歳	17	1	1	56								1	1		1		
20～29歳	20	2	5	273	5		1						6		3		
30～39歳	25														7		
40～49歳	16														2		
50～59歳	2														3		
60～69歳	1														3		
70～79歳	2														1		
80歳以上																	
合計	130	5	64	1172	162	6	81	70	1	1	4	15	89	0	21	3	3
先週比	57	-2	1	46	-8	-6	12	2	1	-1	-1	7	-33	0	6	-13	1

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年4週)

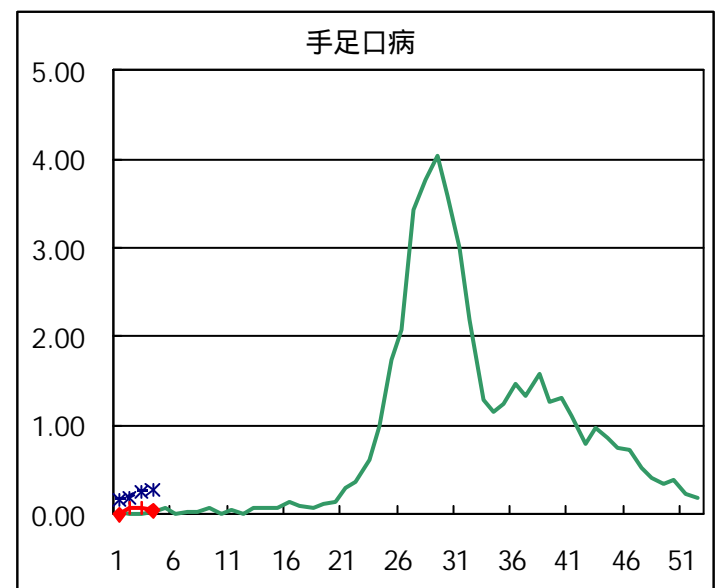
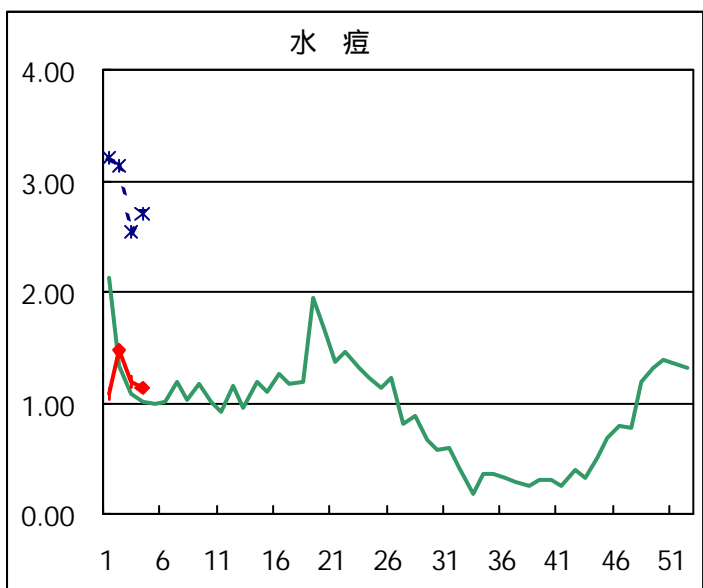
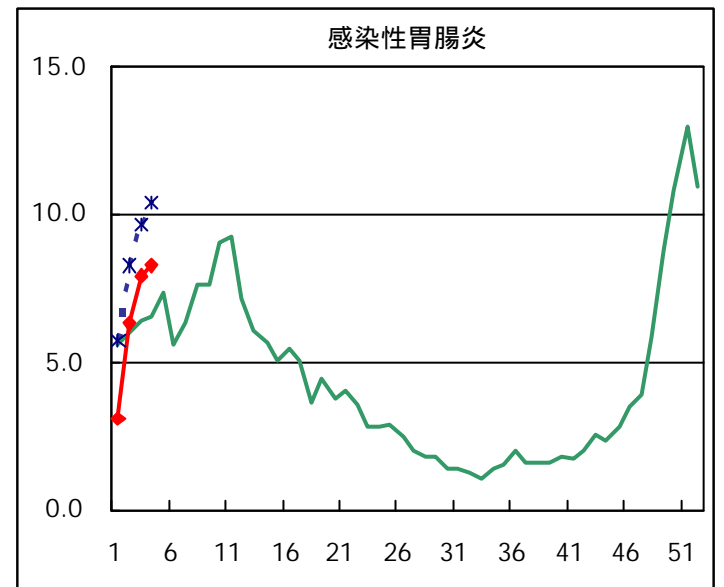
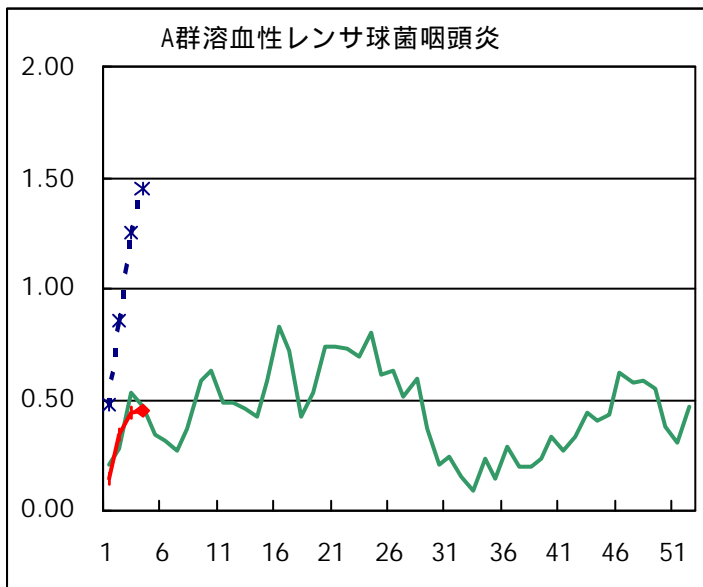
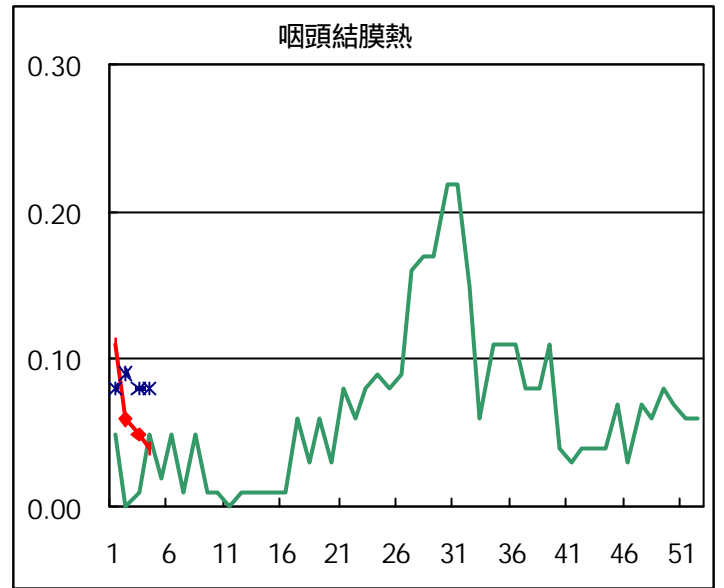
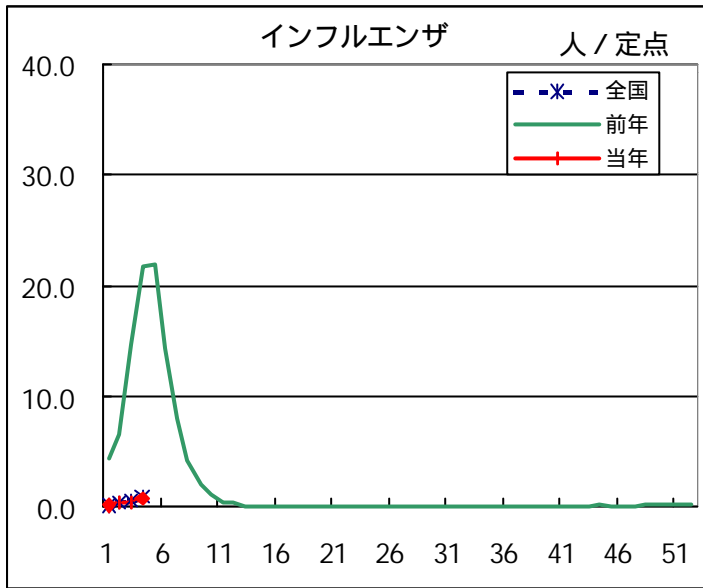
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央		1	2	2	4													9
日本橋				2														2
世田谷	5	1	1	86	9		4	6					5			1		118
渋谷区	6			49	5	1		2			1		2					66
池袋	3	1			3		1				2				2			12
長崎				5	4			1										10
荒川	2			16	1		1	1							1			22
足立	1		4	51	5		4	6					9					80
葛飾	9		6	24	11		13	4					1					68
江戸川			3	28	3		5											39
小岩				18	1		1	1										21
台東	2		3	66	4	1	3	1					8					88
目黒区				23	5			2					1					31
大田区	2		10	56	8		5	6			1	1	9		2	1	1	102
杉並				32	7			1					2					42
北区	4		3	43	17		2	3					3					75
板橋区	5		1	27	4		1			1			1					40
みなと				16	2		3	3				1			1			26
中野区	12		7	42	2							1	4				1	69
新宿区	2		2	121	3		1	1					7		9			146
品川区	3			47	5		4	1					3					63
千代田	6		1	27			2						2					38
練馬区	12			25	10	1	4	6				4	5					67
文京	9			37	4								2		3			55
墨田区	2			33			1											36
江東区	1		11	42	2		1	4					1		2			64

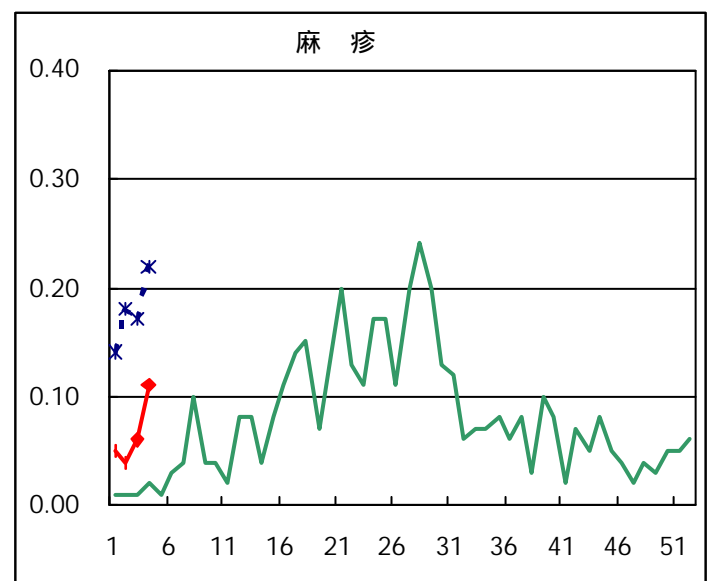
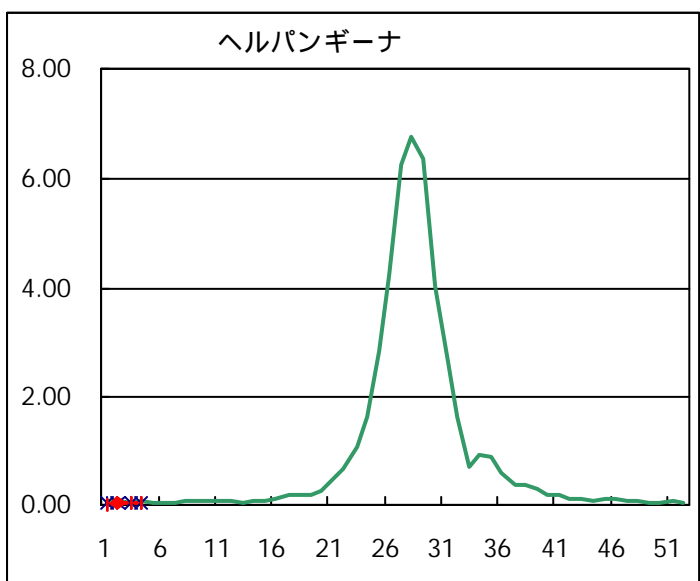
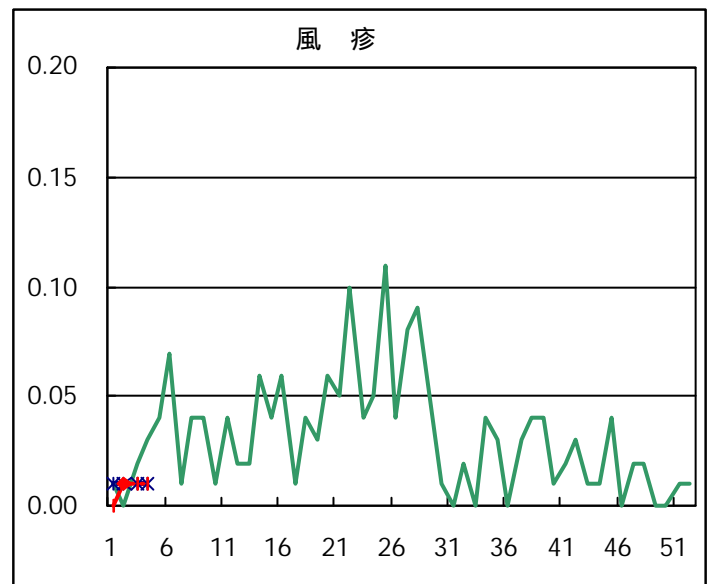
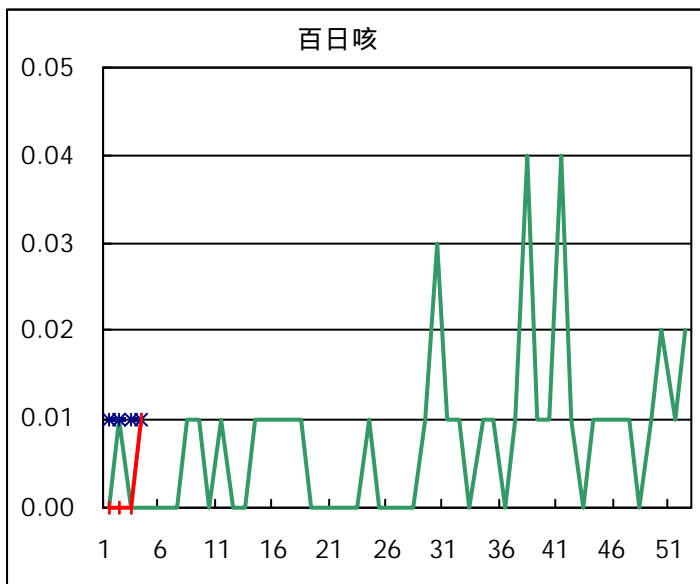
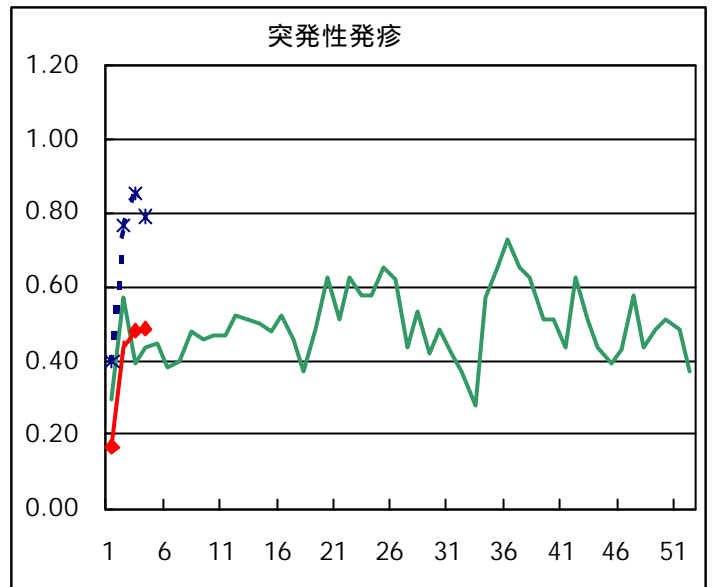
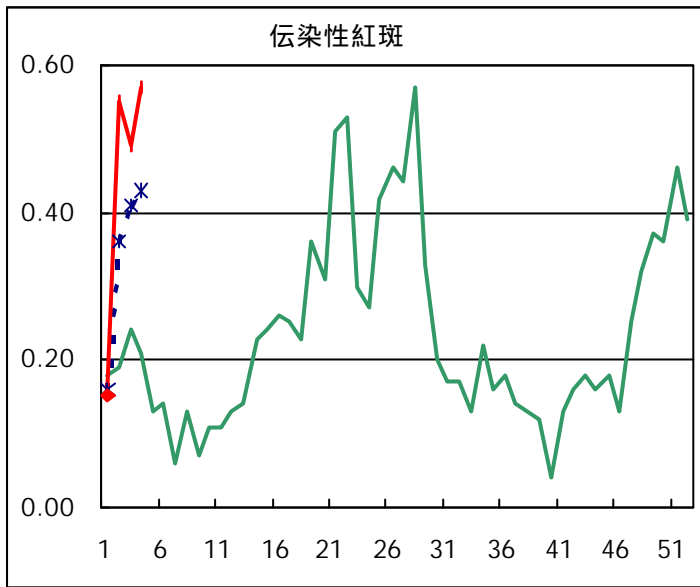
保健所別累計表 (2001年4週)

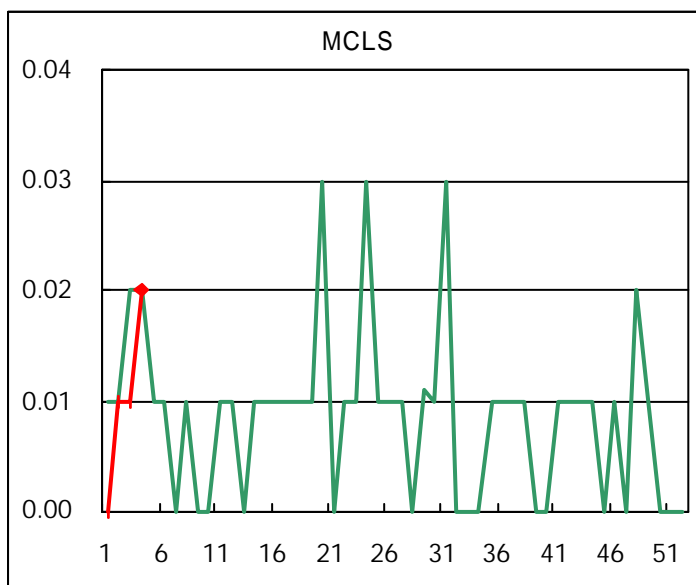
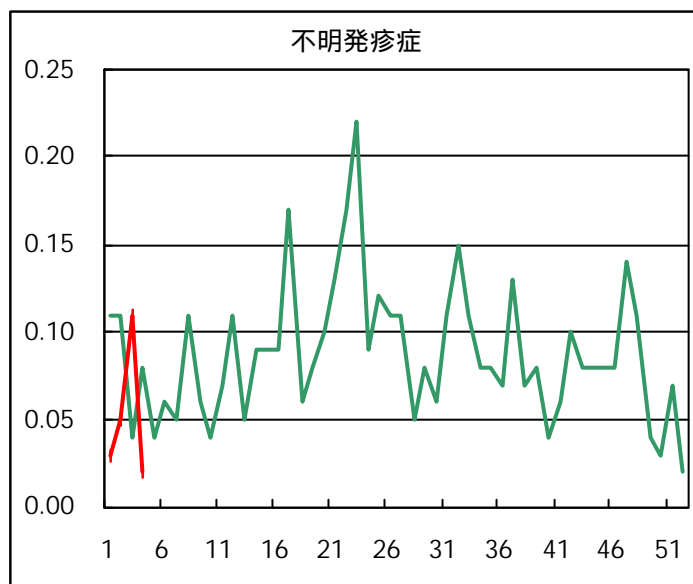
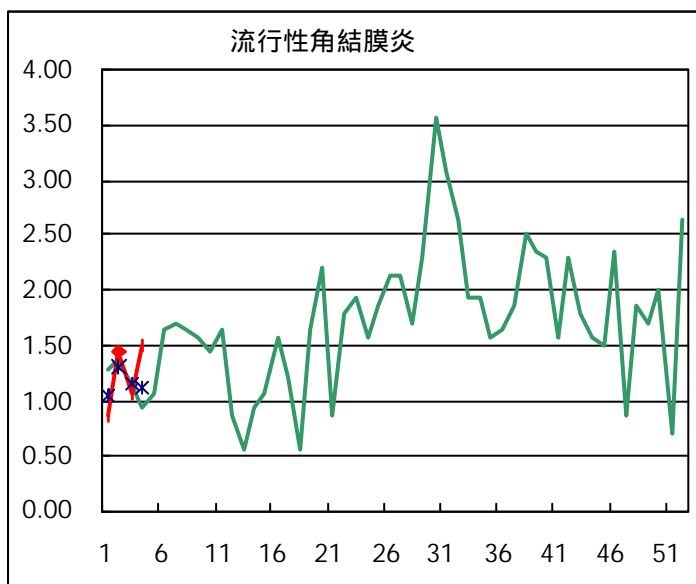
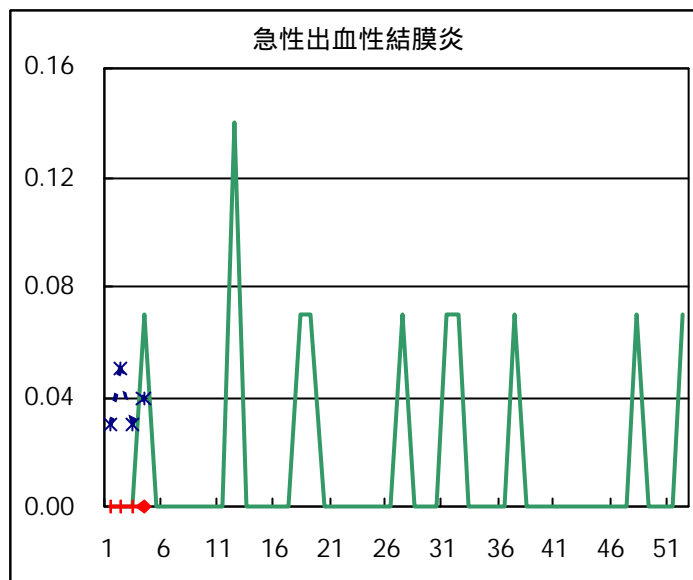
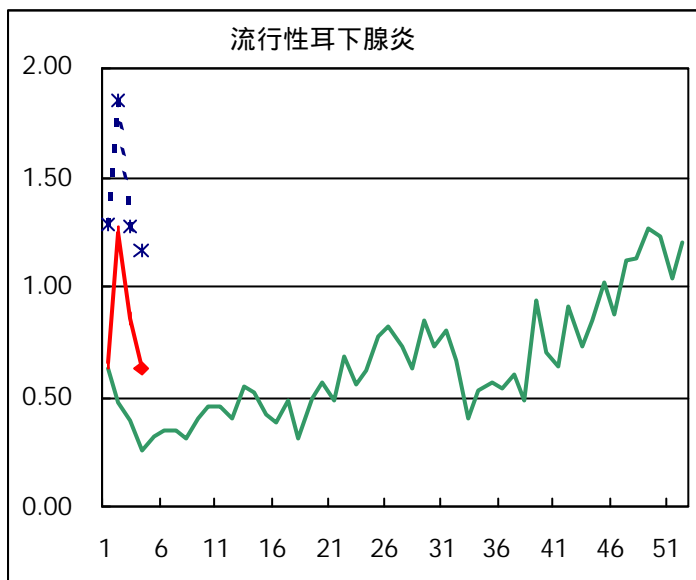
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子	4			15	3			2					4					28
町田			1	37	4		1	2							1	1		47
島しょ								2										2
多摩川	1			28	8		1	6				1	5					50
秋川	5		2	21	4	2	1		1			1	4					41
南多摩	3			14			3	1					1				1	23
多摩立川	2		3	13	7	1	3					3	1					33
村山大和	2		1	10	2			1				2	2					20
府中小金井	7			10	2		2	1										22
狛江調布	7			23	1		4	1					1					37
三鷹武蔵野	5	2	1	12	3		2	3				1	2					31
多摩小平	1			38	7		7	2					3					58
多摩東村山	7		2	33	2		1						1					46

東京都合計	130	5	64	1172	162	6	81	70	1	1	4	15	89	-	21	3	3	1827
定点当り報告数	0.73	0.04	0.45	8.25	1.14	0.04	0.57	0.49	0.01	0.01	0.03	0.11	0.63	-	1.50	0.02	0.02	

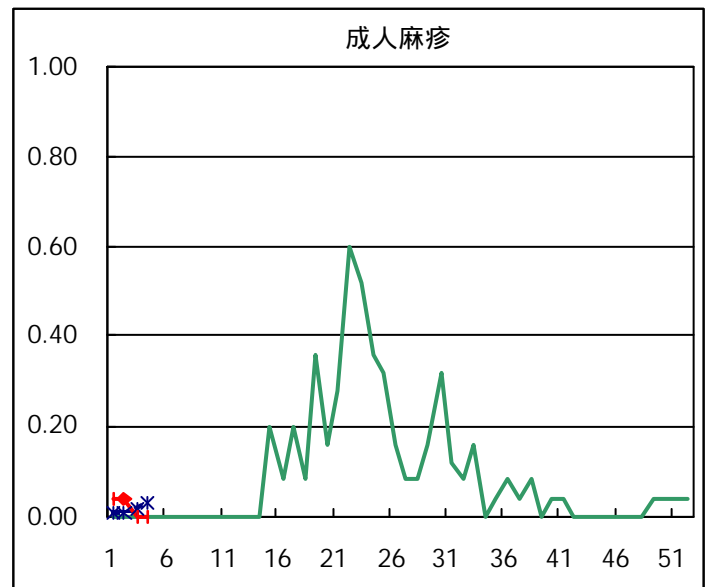
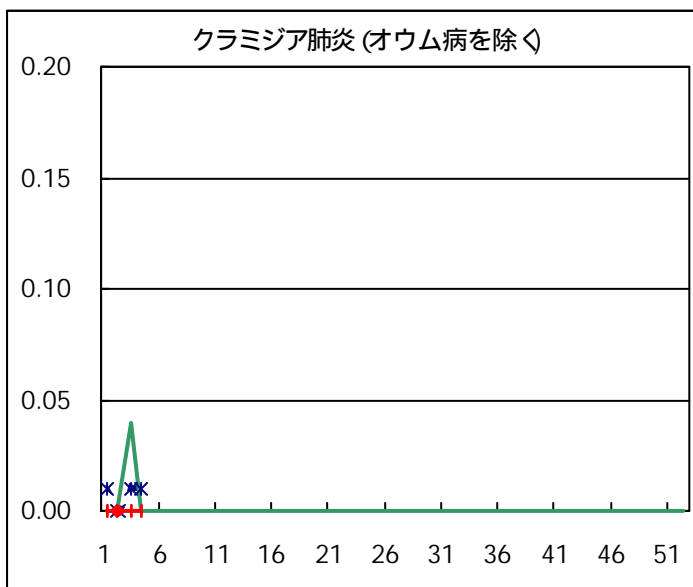
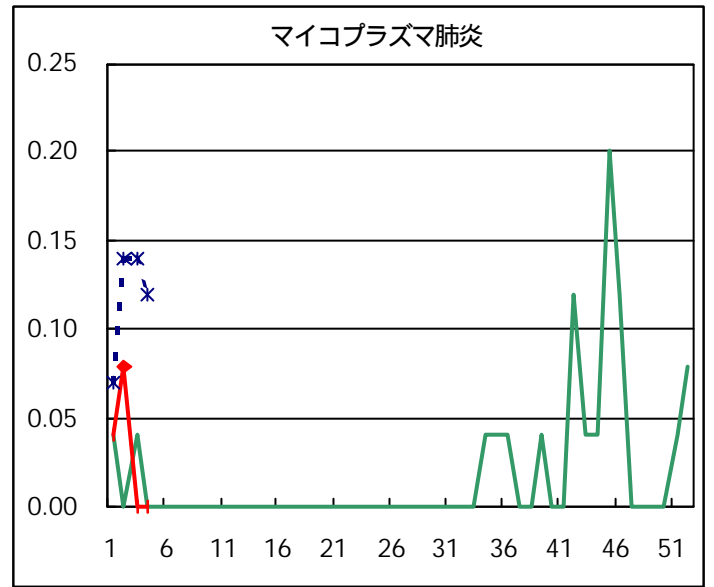
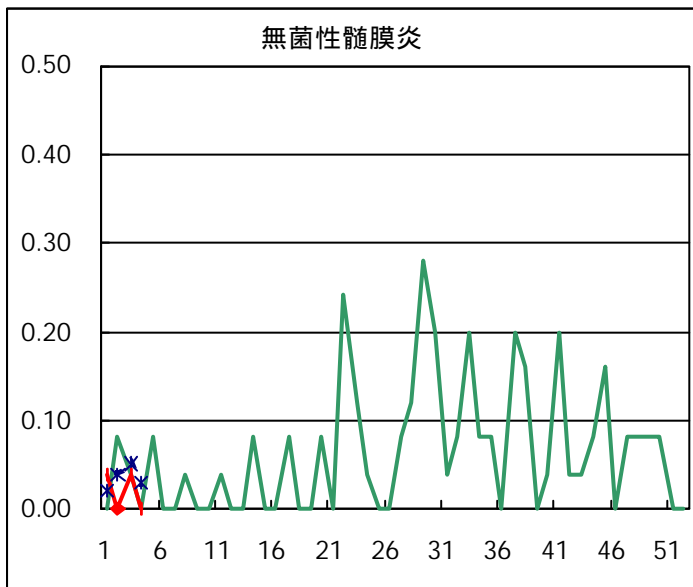
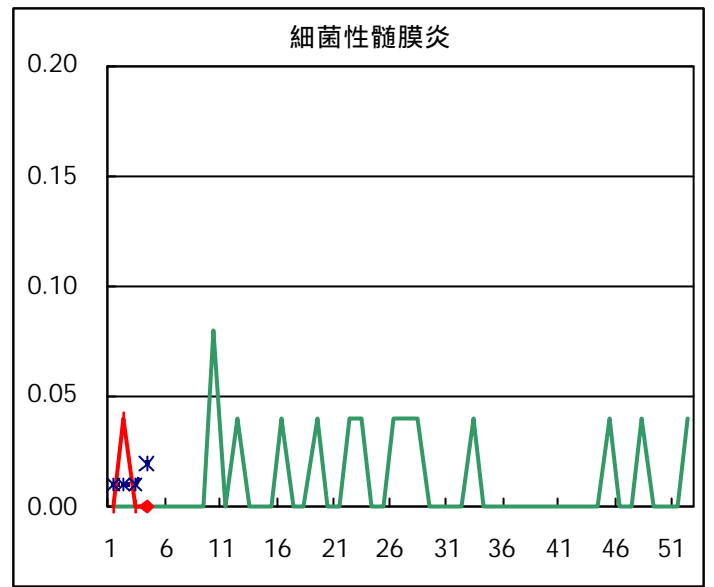
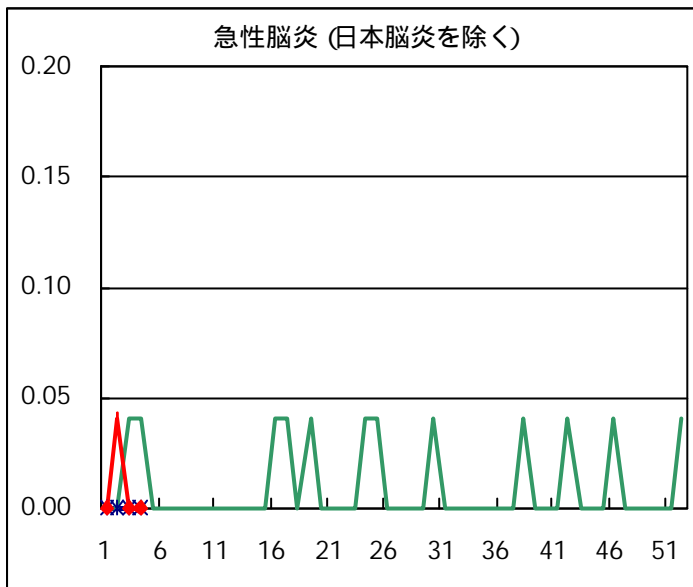
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



< 感染症トピックス >

A群溶血レンサ球菌感染症について

東京都における感染症発生動向調査によるA群溶血レンサ球菌咽頭炎(溶レン菌感染症)は、小児科・内科の定点より報告が行われている。本症は例年、冬季と梅雨季に増加することが知られている。平成3年から11年までの溶レン菌感染症の1定点あたりの報告を見ると平成3年の17.7人から平成6年の23.0人まで毎年増加していたが、平成7年に14.2人と減少し、8年：17.0人、9年：19.7人、10年：19.0人、11年17.6人であり平成12年は22.9人と増加した。今季は溶レン菌感染症流行の兆しを見せている。(図1)

1995～1999年に、都内6病院小児科の上気道炎患者から分離されたA群溶血レンサ球菌795株の型別はT-12型214株、T-4型166株、T-1型86株、T-28型61株、T-6型58株、T-3型44株、T-B3264型37株、T-22型21株、T-25型10株、T-2型50株、T-3型44株、T-1型40株などであった。(図2)

劇症型レンサ球菌感染症(TSLS)は1980年頃からアメリカなどから報告が散見されるようになり、我が国でも1992～1999年末までに209名の報告があった。患者・死亡者の年齢分布を見ると30歳以上が80%以上を占めている。209名の内12名はC・G群により劇症型感染症を起こしているが197名はA群溶血レンサ球菌により発症している。197株の型別を見るとT-1型が72株：36.5%、T-3型が38株：19.3%で全体の半数以上を占めている。次いでT-28型：9.1%、T-12型：7.6%などであった。(図3)

溶血レンサ球菌感染症はインフルエンザの続発として発症する例が多く、劇症レンサ球菌感染症はA群溶血レンサ球菌保菌者が多いと報告例も多くなる傾向にある。今年もインフルエンザの流行シーズンに入りつつあるので、溶血レンサ球菌による上気道炎、劇症レンサ球菌感染症に十分注意する必要がある。

(細菌第二研究科 遠藤美代子)

